

平成26年度 高校生建築デザイン コンクール

課題「公園内のバーベキューハウス」



はじめに

公共建築物は、行政や教育・文化、医療・福祉、研究など、さまざまな分野で、地域の産業や人々の生活に密接な関わりを持ち、地域の活性化や道民生活の向上、気候風土等と調和した魅力あるまちづくりを推進する上で重要な役割を果たしています。

道では、道内の建築を志す高校生の勉学の励みとし、将来の建築技術者となる若年層の育成を図るとともに、道民に愛され親しまれる施設整備を進めるため、道内の建築系学科に在籍する高校生を対象に、夢のあるユニークなデザインを募集し、その提案を施設整備に取り入れていく「高校生建築デザインコンクール」を平成8年度から実施しています。

平成12年度からは、公益社団法人 日本建築家協会北海道支部、一般社団法人 北海道建築士事務所協会、一般社団法人 北海道建築士会との共催事業として実施し、コンクールの内容をより一層充実させてきております。

今年度は、網走市の道立オホーツク公園内のバーベキューハウスを課題として設定したところ、6校108人から67作品の応募がありました。

豊かな自然を満喫することができ、子どもからお年寄りまで、誰もが使いやすいバーベキューハウスについて、自然環境や周辺環境、ユニバーサルデザインに配慮することなどを求めましたが、高校生らしい創造性にあふれた作品が数多く寄せられました。

応募された皆様には、心からお礼申し上げます。

厳正な審査を経て、最優秀作品賞1作品、優秀作品賞3作品、佳作4作品、特別賞2作品が選定されました。受賞者の皆さん、誠におめでとうございます。

道においては、この度選定されました最優秀作品の提案を踏まえ、道民に親しまれる公共建築物づくりに活かしてまいりたいと考えております。

将来建築を志す高校生の方たちがコンクールに参加することで、公共建築物について考え、そして学んだ経験は、今後建築技術者として第一線で活躍される上で貴重な財産になるものと期待しています。

終わりに、高校生建築デザインコンクールの実施にあたり、各高等学校でご指導いただきました先生方をはじめ、関係機関の皆様には多大なご協力を賜り厚くお礼申し上げますとともに、ご応募いただいた高校生の皆さんには、今後も専門の勉強に励まれ、将来社会でご活躍されることを心からお祈り申し上げます。

平成26年12月

北海道建設部長 下出 育生



平成26年度

高校生建築デザインコンクールの実施概要

道民に愛され親しまれる公共建築物づくりを進めるため、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

このコンクールは、次世代を担う建築技術者となる道内の高等学校（建築系学科）に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイデアを募集するものです。

最優秀作品に選ばれた作品の提案主旨は、道において、設計に取り入れ道民に親しまれる施設となるよう建設を進めていきます。

- 1 課題 「公園内のパーベキューハウス」
豊かな自然を満喫することができ、子どもからお年寄りまで、誰もが使いやすい、パーベキューハウスを設計して下さい。
- 2 応募資格 道内高等学校（建築系学科）に在籍する個人又は3名以下のグループ
- 3 提出図面 JIS規格A2判(420mm×594mm)横置き1枚片面に下記の全ての図面を描く
 - ① 作品タイトル
 - ② 設計主旨
 - ③ 配置図・平面図 1/100～1/150
 - ④ 断面図 1/50～1/100
 - ⑤ 立面図 1/50～1/100
 - ⑥ スケッチ
 - ⑦ 面積表
- 4 応募作品 108名から67作品の応募
- 5 入選作品 最優秀作品1作品 ・ 優秀作品3作品 ・ 佳作4作品 ・ 特別賞2作品
- 6 経過

募集要項配付	平成26年6月13日
作品受付	平成26年8月25日から平成26年9月5日まで
選定委員会	平成26年9月12日
作品展(予定)	平成27年1月6日から平成27年1月7日まで
- 7 選定委員

遠藤 謙一良	公益社団法人 日本建築家協会北海道支部副支部長
仙座 猛	一般社団法人 北海道建築士事務所協会業務・技術委員会担当副会長
鈴木 利治	一般社団法人 北海道建築士会まちづくり委員会副委員長
小山 茂樹	北海道教育庁学校教育局高校教育課長
竹内 正志	北海道建設部まちづくり局都市環境課公園下水道担当課長
田中 淳一	北海道建設部建築局建築整備課長



審査講評

「高校生建築デザインコンクール」は、道内の建築系学科に在籍する建築を志す生徒の皆様から夢のあるアイデアを募集し、最優秀作品の趣旨を実際の設計に活かして、道民から愛され親しまれる公共建築物づくりを進めようとするものです。

今回は網走市の道立オホーツク公園の「パーベキューハウス」を課題としました。

応募された皆様は、建設予定地である地域の自然風土といった特徴を調べ設計のコンセプトに取り込み、また、人々が集いたくなるようなプランとするためアイデアを煮詰めて設計されたことと思います。

応募作品には、高校生らしい若々しい発想による平面計画や外観のデザイン、環境、構造、仕上材など、それぞれ工夫された設計の提案が数多く見られました。何より、多くの作品からこのパーベキューハウスをさまざまな人たちに利用して欲しいという思いが伝わってきていました。

審査にあたっては

- ・高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか。
- ・設計のコンセプトやデザインに魅力があるか。
- ・立地条件を活かしているか。
- ・ユニバーサルデザインや環境などに配慮されたデザインであるか。

といった観点から、厳正に審査を重ねた結果、最優秀作品1作品、優秀作品3作品、佳作4作品、特別賞2作品を選定いたしました。

このほか、惜しくも入賞されなかった作品の中にも、高校生らしい創造性に溢れたデザイン提案が数多くありました。

このコンクールへ参加したことにより、さらに建築に対する関心が高まり、ものづくりを学ぶ皆様の学習意欲や進路意識の高揚にもつながることを期待しております。

今年度も、多くの関係者に支えられ、高校生建築デザインコンクールを盛会のうちに進めることができました。

選定委員会を代表して、関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。

今回、ご応募いただきました皆様のこれからの社会でのご活躍をお祈りし、審査講評とさせていただきます。

平成26年度高校生建築デザインコンクール選定委員会

委員長 北海道建設部建築局建築整備課長 田中 淳一

平成26年度 高校生建築デザインコンクール入賞者一覧

最優秀作品賞（1作品）

遠山 大騎（北海道美唄尚栄高等学校 3年）
近江 信哉（北海道美唄尚栄高等学校 3年）
岸 龍彦（北海道美唄尚栄高等学校 3年）

優秀作品賞（3作品）

平塚 友紀（北海道札幌工業高等学校 3年）
本間 結（北海道札幌工業高等学校 3年）
高坂 昌樹（北海道札幌工業高等学校 3年）

星野 滉太（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
佐藤 隼（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
佐々木天太（北海道苫小牧工業高等学校 3年）

関口 博史（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
小田桐京佑（北海道苫小牧工業高等学校 3年）

佳 作（4作品）

赤石 悠夏（北海道函館工業高等学校 3年）
中村 水紀（北海道函館工業高等学校 3年）
渋谷 優花（北海道札幌工業高等学校 3年）

松川 雄大（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
西 一牙（北海道苫小牧工業高等学校 3年）
西口 拓見（北海道苫小牧工業高等学校 3年）

特 別 賞（2作品）

半田 知子（北海道函館工業高等学校 3年）
多田 千恵（北海道札幌工業高等学校 3年）
佐藤 友哉（北海道札幌工業高等学校 2年）
宮下 丈瑠（北海道札幌工業高等学校 2年）

入賞作品

最優秀
作品賞

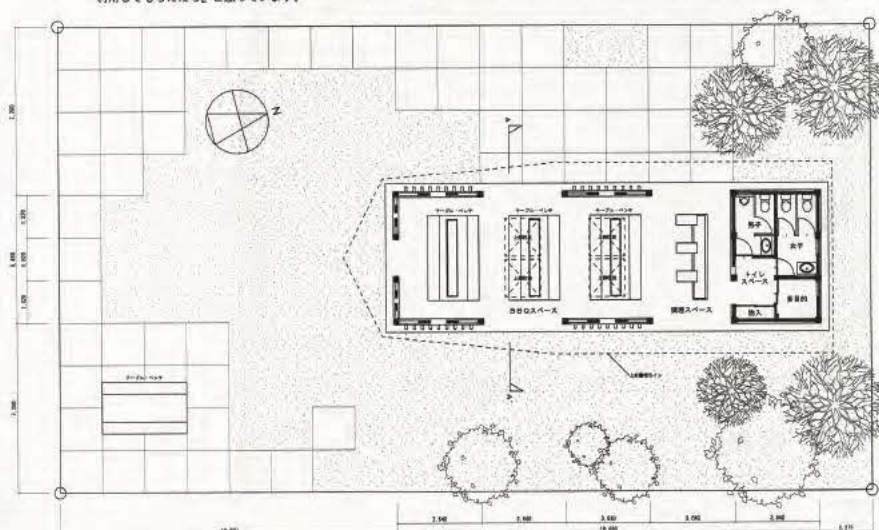
北海道美唄尚栄高等学校

遠山 大騎 (3年)
近江 信哉 (3年)
岸 龍彦 (3年)

平成26年度 高校生建築デザインコンクール 公園内のバーベキューハウス

面積表			
BBQスペース	59.62㎡	トイレスペース	19.87㎡
調理スペース	19.87㎡	延べ面積	99.36㎡

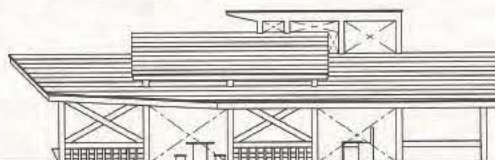
オホーツク海に面した網走市にはたくさんの流氷が流れ着きます。そこで、私たちは流氷砕氷船「ガリンコ号」をモチーフにすることにしました。バーベキューハウスの屋根は船体に似せ、カラーも赤色を取り入れました。さらに、「ガリンコ号」の最大の特徴であるスクリューを表現するため、それに似せた飾りをつけ、老若男女が楽しめるデザインにしました。また屋根を二重にすることで、バーベキューによって発生する煙を逃がしやすくするための工夫をしています。外構は自然との調和を考えたつも、平板を敷きつめ流氷に見立てています。「地域の人が家族や友人などと心地よく利用してもらえたら」と願っています。



配置図家平面図 S=1/100



A-A'断面図 S=1/100



東側立面図 S=1/100

公園内のバーベキューハウス

設計趣旨

オホーツク海に面した網走市にはたくさんの流氷が流れ着きます。そこで、私たちは流氷砕氷船「ガリンコ号」をモチーフにすることにしました。バーベキューハウスの屋根は船体に似せ、カラーも赤色を取り入れました。さらに、「ガリンコ号」の最大の特徴であるスクリューを表現するため、それに似せた飾りをつけ、老若男女が楽しめるデザインにしました。また屋根を二重にすることで、バーベキューによって発生する煙を逃がしやすくするための工夫をしています。外構は自然との調和を考えたつも、平板を敷きつめ流氷に見立てています。「地域の人が家族や友人などと心地よく利用してもらえたら」と願っています。

審査講評

流氷船をモチーフにした大きな屋根の下にゆったりと諸室が配置されたプランに気持ち良さを感じ、場の開放感もあって自然との一体感も楽しめるような提案となっているところが特に高く評価された。



北海道札幌工業高等学校

平塚 友紀 (3年)
本間 結 (3年)
高坂 昌樹 (3年)



FLOWER DOME ~Barbecue house~



設計趣旨

網走市という町を代表する花である「エゾムラサキツツジ」と、バーベキューには欠かすことのできない「七輪」を融合させることで、今までにない新しいバーベキューハウスを提案します。

建物の形状は全体的にツツジをイメージして作られていて、建物の上部に「網」を設置することにより七輪を視覚的にイメージ出来るようにしました。また、上部に設置してある網は、バーベキューで発生した煙を建物の外に排出するという機能も兼ね備えています。

さらに、建物の内部は多人数が同じ空間を使用することができるよう、バーベキューを行う台を可動式にすることで、それぞれの用途に合わせた場に生まれ変わります。



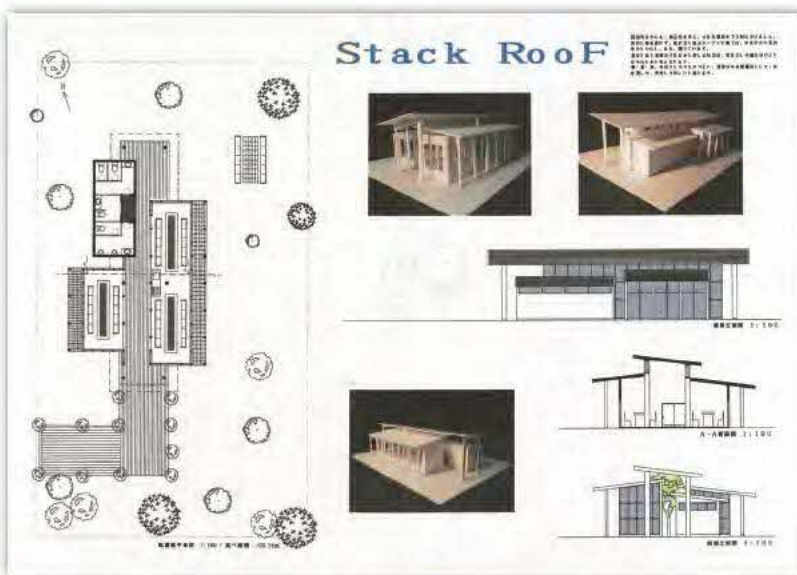
審査講評

空間の個と共有スペースのバランスが良く、程良く外に開かれた形態は雨、日射しのシェルターとしての機能もあり、遠くから見てもわかる花のイメージが可愛らしく、花の中心部を七輪に見立てるユニークな発想などが高く評価された。



北海道苫小牧工業高等学校

星野 滉太 (3年)
佐藤 隼 (3年)
佐々木天太 (3年)



Stack Roof



設計趣旨

開放的な中にも、独立性を考え、大きな屋根の下3棟に分けました。室内に壁を設けず、柱が立ち並ぶオープンな廊下は、ゆるやかに室内をひとつにし、また、隔てています。

重なりあう屋根のすきまから差し込む光は、柱を介し木漏れ日のようなやわらかい光となります。

春・夏・秋、冬はクリスマスのついで、雪遊びの休憩場所として1年を通して、利用してほしいと思います。



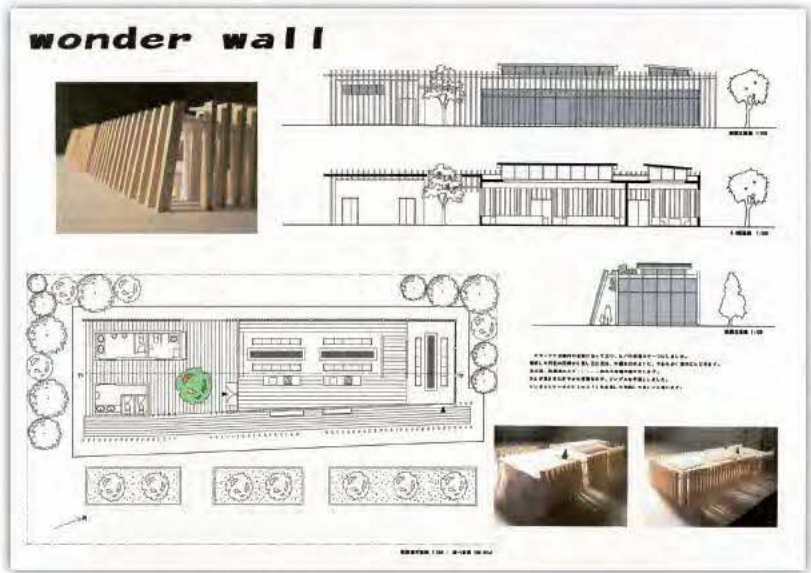
審査講評

大きな屋根の下に2つの屋根が重なりあい、広がりを感じられ美しいデザインとなっていて、プランの個と共用の関係が良く、バーベキューコーナーの機能もしっかりしていることなどが高く評価された。



北海道苫小牧工業高等学校

関口 博史 (3年)
小田桐京佑 (3年)



wonder wall

設計趣旨 オホーツク公園内の通路に沿って立つ、ヒバの垣根モチーフにしました。傾斜した列柱の回廊から差し込む光は、木漏れ日のように、やわらかく室内にとどきます。並木道、防風林のよう・・・、一枚の不思議な壁になります。ひとが集まるにぎやかな空間なので、シンプルな平面としました。シンボルツリーでクリスマス！1年を通して利用して欲しいと思います。

審査講評 木造の持ち味を出し、縦格子が作り出す光の演出をねらっているのがユニークであり、公園のシンボルとなり得るようなデザインとなっていて、共用空間と程良く分離された屋根に覆われた空間のゆとりがあることなどが高く評価された。



北海道函館工業高等学校

赤石 悠夏 (3年)



Flower

設計趣旨 このバーベキューハウスは網走市の野山に咲く「花」をモチーフにデザインしました。花の中央になる部分をホールとして掲示物やベンチを配置し、休憩スペースを設けました。花びらの部分にバーベキューコーナーとトイレを配置しています。屋根にはトップライトがあり、ハウス全体を明るく演出してくれます。バーベキューコーナーを3つに分けたことでグループごとに楽しみプライベートにも配慮しています。壁は腰壁の設置により、外の景色も見ることができ、煙も溜まらないようになっています。このバーベキューハウス「Flower」で網走市民、道内の観光客が楽しく美味しくバーベキューを楽しめることを願っています。

審査講評 公園環境に大きく開かれた十字型のプランは気持ち良く、花をシンプルにイメージできるデザインで非常に良くまとまっていることや、外観もシンプルで分かりやすいことなどが評価される作品である。



北海道函館工業高等学校

中村 水紀 (3年)



Mother Nature



このパーベキューハウスは、網走の広葉樹、針葉樹の2つの木が共存している様子を表現するため、屋根の形を2種類に分けました。中央の屋根は頂上の部分に白い部材を使い、「知床連山」の山をイメージさせるようなデザインにしました。パーベキュースペース、トイレはそれぞれ独立させる事で落ち着いて利用でき、グループごとに団らんも出来る空間となっています。また、全てを水場に連結させる事でコミュニケーションを図る事が出来るようにしました。パーベキュースペースは広場に向けた面の壁を取った事で、見通しが良く開放感もあり、子供も目に届くので安全に利用出来るようになっています。

このパーベキューハウスMother Natureは誰でも気軽に利用でき、人々が自然と集うような施設になればと思います。



知床連山をイメージした屋根の重なりがおもしろく、デザインや表現力にも優れていて、自然を感じやすいように工夫された開放的なパーベキュースペースや楽しいデザインであることなどが評価される作品である。



北海道札幌工業高等学校

渋谷 優花 (3年)



Be in full Bloom



パーベキューハウスを設計するにあたり、まず心がけたことは「雰囲気を楽しみつつ、独立性がもてる空間」でした。網走市の雄大の大自然の風を感じながらのびのびと利用できて、かつ利用している人々が気を使うことなく安心して楽しめる、そんなパーベキューハウスが理想ではないのかと考えました。

そこで、1グループが使うスペースを一つの東屋とし、完全な密室とすることなく、程よい独立感を出すことが出来ました。東屋の形と、全体のイメージは網走市を代表する花である「エゾムラサキツツジ」をモチーフにしました。自然の中に建ったこの大きなツツジの下に、たくさんの人たちの笑顔が集まることの出来る空間になればと思います。

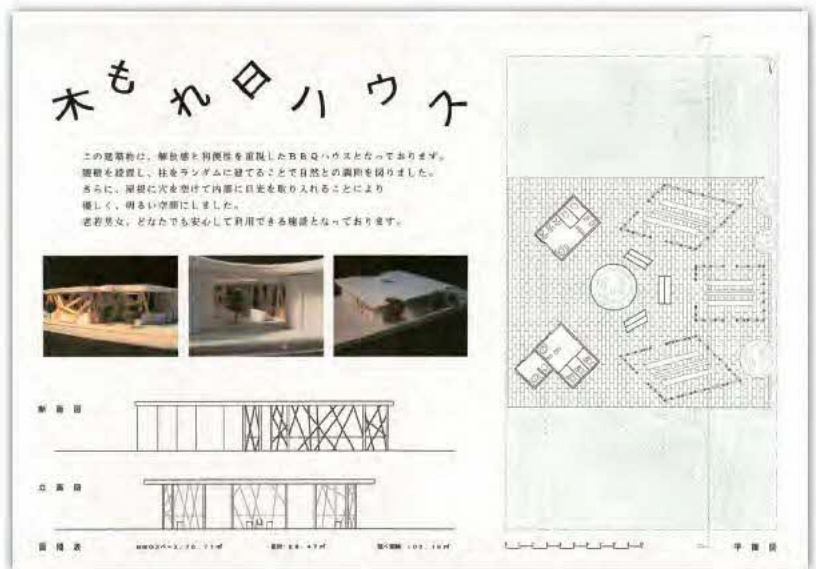


独立性の確保を重点におき、考えられたデザインとなっていて、花びらをモチーフにした発想が面白いことなどが評価される作品である。



北海道苫小牧工業高等学校

松川 雄大 (3年)
西 一牙 (3年)
西口 拓見 (3年)



木もれ日ハウス



設計趣旨 この建築物は、解放感と利便性を重視したBBQハウスとなっております。腰壁を設置し、柱をランダムに建てることで自然との調和を図りました。さらに、屋根に穴を空けて内部に日光を取り入れることにより、優しく明るい空間にしました。老若男女、どなたでも安心して利用できる施設となっております。



審査講評 森をイメージさせるランダムな柱の発想がユニークで、トップライトを設けて採光に配慮していることなどが評価される作品である。



北海道函館工業高等学校

半田 知子 (3年)



Flap



設計趣旨 このバーベキューハウスの外観は、網走市の湿地に生息している「コアカゲラ」をイメージしデザインしました。また、躍動感を演出するため羽ばたいて見えるよう考えました。平面もコアカゲラが、羽を広げて空を飛んでいる姿をイメージしています。室内はバーベキュースペースと便所を離しており、直接見えないようにしています。また調理スペースをバーベキュースペースの中央部に設けているので、動線を短縮でき行き来しやすくなっています。

このバーベキューハウスFlapは、老若男女問わず親しみを持ってもらい、多くの人々が自然を満喫しながら食事することができるでしょう。



審査講評 コアカゲラをイメージしたデザインがユニークで独創性が感じられ、便所への視線を考え工夫した平面プランなどが評価される作品である。



北海道札幌工業高等学校

- 多田 千恵 (3年)
- 佐藤 友哉 (2年)
- 宮下 丈瑠 (2年)



Frocs

設計趣旨

このパーベキューハウスは網走市の観光名所「あばしりフロックス公園」にある10haの高原に15万株咲いているフロックスの花を伏せたような形をイメージしたテント形パーベキューハウスにしました。子供からお年寄りまでの幅広い年齢の方が利用するパーベキューハウスなので、車椅子に乗りながらパーベキューを楽しむことのできる設計になっています。また、積雪に配慮し、冬場は屋根を取り外すような設計にしております。屋根を取り外すことで雪下ろし中の事故や、落雪による怪我等を防止でき、積雪で屋根が傷むこともないので維持管理も比較的容易となっております。

審査講評

フロックスの花をモチーフにした屋根が独創的であり、楽しい気持ちになるデザインとなっていて、維持管理の低減についての提案があることなどが評価される作品である。

平成26年度高校生建築デザインコンクール応募者名簿

北海道札幌工業高等学校

- 多田 千恵 [3年]
- 佐藤 友哉 [2年]
- 宮下 丈瑠 [2年]
- 3名グループ
- 渋谷 優花 [3年]

- 羽角 日菜 [2年]
- 長塚 采海 [2年]
- 成田 咲 [2年]
- 西東菜津季 [2年]
- 齊藤那奈美 [2年]
- 鈴木亜友子 [2年]
- 3名グループ
- 中達 陸斗 [2年]

北海道美唄尚栄高等学校

- 遠山 大騎 [3年]
- 近江 信哉 [3年]
- 岸 龍彦 [3年]
- 3名グループ

北海道釧路工業高等学校

- 高木 和 [3年]
- 吉岡貴美歌 [3年]
- 2名グループ

北海道函館工業高等学校

- 赤石 悠夏 [3年]
- 石山由理奈 [3年]
- 岡田 莉帆 [3年]
- 黒坂 優奈 [3年]
- 齊藤 斐 [3年]
- 佐藤 莉奈 [3年]
- 高田 美空 [3年]
- 竹内 早紀 [3年]
- 永井 育海 [3年]
- 中村 水紀 [3年]
- 半田 知子 [3年]
- 水上 京香 [3年]
- 山崎 弥月 [3年]
- 山崎 優奈 [3年]
- 秋山 翔飛 [2年]
- 池田 裕輝 [2年]
- 池田 理奈 [2年]
- 一戸 瑞生 [2年]
- 伊藤 琴海 [2年]
- 乾 愛菜 [2年]
- 岩館 海斗 [2年]
- 大室 未貴 [2年]
- 加藤ゆりあ [2年]
- 鎌田 莉乃 [2年]
- 黒川 沙彩 [2年]
- 小林 真珠 [2年]
- 佐々木日和 [2年]
- 佐藤 晃徳 [2年]
- 白戸明日香 [2年]
- 鈴木 佑佳 [2年]
- 田原真衣子 [2年]
- 中村 風太 [2年]
- 西田 桜 [2年]
- 野村 侑以 [2年]
- 久末 結奈 [2年]
- 松倉 あみ [2年]
- 村田 樹里 [2年]
- 村田菜々花 [2年]

北海道苫小牧工業高等学校

- 仲田 圭吾 [3年]
- 森下 夢巳 [3年]
- 日向寺 陸 [3年]
- 3名グループ
- 星野 混太 [3年]
- 佐藤 隼 [3年]
- 佐々木天太 [3年]
- 3名グループ
- 松川 雄大 [3年]
- 西 一牙 [3年]
- 西口 拓見 [3年]
- 3名グループ
- 島本 颯太 [3年]
- 川奈野大輔 [3年]
- 木下 歩 [3年]
- 3名グループ
- 佐川 真悟 [3年]
- 長縄 拓巳 [3年]
- 山家寿生哉 [3年]
- 3名グループ
- 横山 翔大 [3年]
- 山崎 颯人 [3年]
- 細谷 麻人 [3年]
- 3名グループ
- 大谷ひまわり [3年]
- 板垣 佑弥 [3年]
- 小林 恭介 [3年]
- 3名グループ
- 上野 真毅 [3年]
- 貝澤 力 [3年]
- 有ノ木 海 [3年]
- 3名グループ
- 背戸川京佑 [3年]
- 濱坂 透 [3年]
- 三輪 真聖 [3年]
- 3名グループ
- 飯尾 友貴 [3年]
- 加藤 和馬 [3年]
- 泉 翔馬 [3年]
- 3名グループ
- 佐藤 直人 [3年]
- 戸村 駿介 [3年]
- 北川 拓磨 [3年]
- 3名グループ
- 俣野 桂 [3年]
- 松川 雅斗 [3年]
- 中村 和希 [3年]
- 3名グループ

北海道小樽工業高等学校

- 伊藤 美玖 [2年]
- 三浦 俊輝 [2年]
- 守田 優希 [2年]
- 八重樫悠斗 [2年]
- 3名グループ
- 平 比呂 [2年]
- 大城 風馬 [2年]
- 2名グループ
- 田山みづき [2年]
- 市川穂奈実 [2年]
- 阿部 美桜 [2年]
- 大道 翠 [2年]
- 3名グループ
- 山本 稜太 [2年]
- 松尾 尚平 [2年]
- 岩船 匠真 [2年]
- 3名グループ

高校別応募作品数一覧

学校名	応募作品数
札幌工業高等学校	3
函館工業高等学校	38
小樽工業高等学校	11
苫小牧工業高等学校	13
美唄尚栄高等学校	1
釧路工業高等学校	1
計	67

応募67作品、参加人数108名



ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2014



共催

北海道 公益社団法人日本建築家協会北海道支部

一般社団法人北海道建築士事務所協会

一般社団法人北海道建築士会

北海道建設部建築局ホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kkr/>

平成26年12月